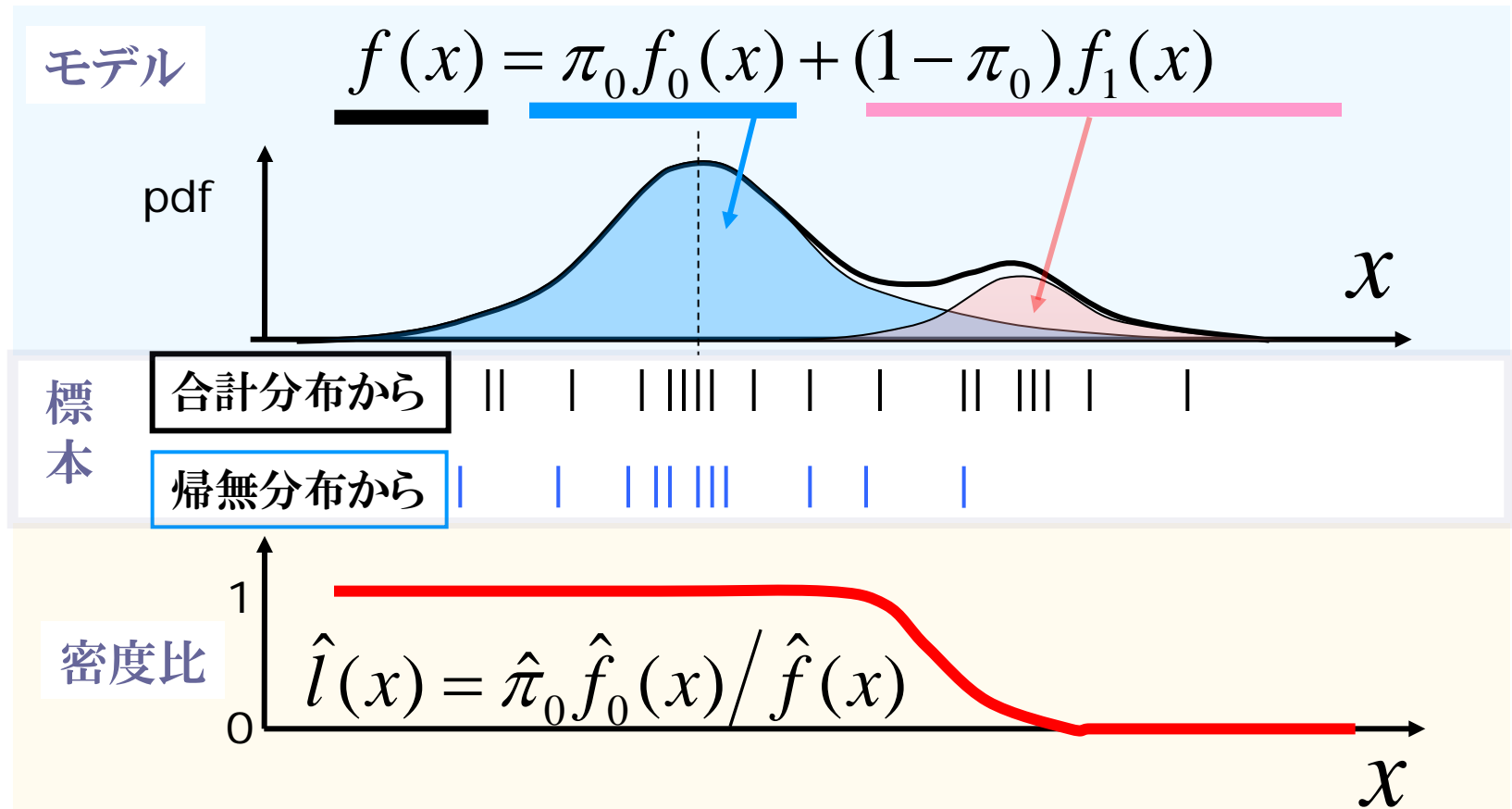


# P4-35: 動径ロジスティック回帰による多重検定

(1/2)

大羽成征 (京大)

- 多重検定では密度比推定が重要



- 多重検定のために特化した密度比推定法とは？

# P4-35:動径ロジスティック回帰による多重検定

(2/2)

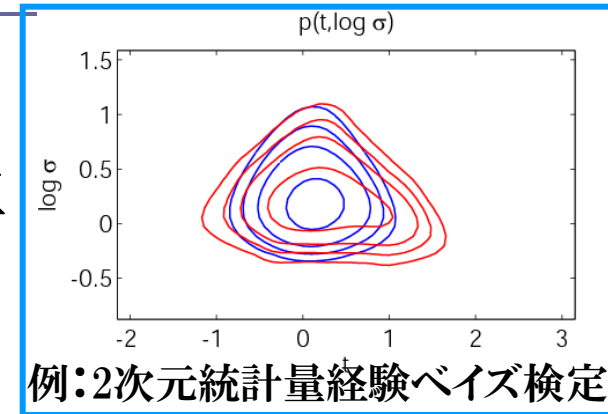
大羽成征(京大)

## □ 多重検定の特徴:

- 特徴量空間原点付近で帰無仮説成立
- 原点から離れるほど対立仮説成立

## □ 動径ロジスティック回帰:

- 密度比を原点からの距離の Logistic 関数で表現
- パラメタを方向ベクトルの関数で表現



$$r(\mathbf{x}_i) = F_L(d_i; \theta(\mathbf{u}_i))$$

$$\mathbf{x}_i = d_i \mathbf{u}_i \quad d_i \geq 0, \|\mathbf{u}_i\| = 1$$

